

インターネットとキャッシュの仕組み

ここで勉強すること

- インターネット通信の仕組み
- ページの有効期限が切れるのはどんなとき？

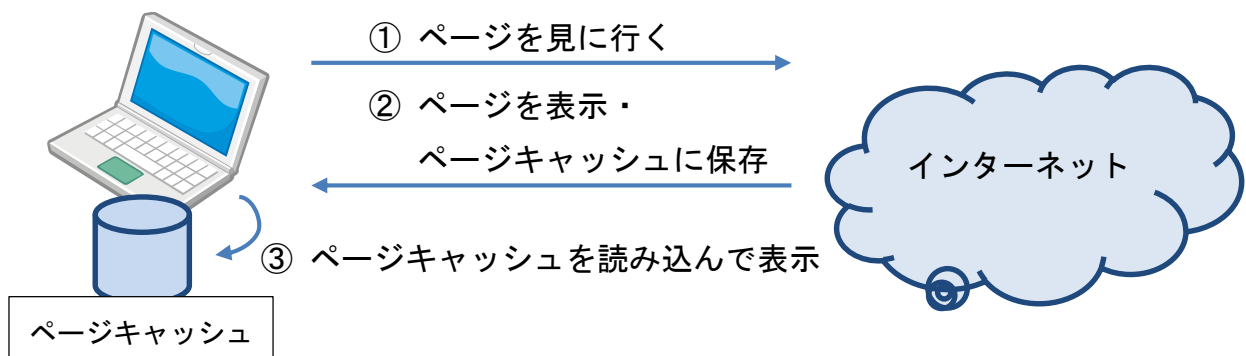
インターネット通信の仕組み

インターネットのページを読み込むには、時間がかかります。

インターネットブラウザソフトでインターネットのページを読み込むときは、よく見るページの読み込み時間を短縮するために、ページキャッシュという仕組みが用意されています。

インターネットのページをはじめて見に行くとき、ページを読み込んで、表示するための情報が、パソコンに保存されます。これが、ページキャッシュです。

すでにキャッシュにあるページを見ようとした場合は、インターネットに直接ページを見に行かずに、パソコンのキャッシュを読み込みます。これにより、インターネットのページをすばやく表示できるようになります。



ページキャッシュのような仕組みは、パソコンではあちこちで使用されています。このキャッシュは英語では cache と書き、「隠し場所、貯蔵庫」などの意味の英語です(お金を意味するキャッシュは「cash」と書きます。上のキャッシュとは別物です)。

ページの有効期限が切れるのはどんなとき？

ページをキャッシュから読み込んでばかりでは、インターネットのページが書き換わったときに古いままのページを読んでしまいます。

そのため、ページキャッシュには有効期限が設定されています。有効期限が切れたページは、ページキャッシュがあるページであってもインターネットからページを読み込みに入ります。

この有効期限は、とくに検索ページなど内容が書き換わることの多いページでは短めに設定されています。

そのようなページでページキャッシュの有効期限が切れたとき、写真のようなページが表示されることがあります。

このページは、このページキャッシュの有効期限が切れていることを示します。



普通は自動的にインターネットからページを読み込みますが、検索ページなど、自分がパソコンに入力した文章を元に表示されているページでは、そのまま再読込を行わず、いったんこのようなページが表示されて再読込をするかどうか確認することがあります。

もし検索ページなどでこれが表示されたときには、特に再読込をしても問題ありませんので、そのまま再読込をしても問題ありません。インターネットショッピングや、何かの文章を他の人に送信する画面を表示しているときに再読込をしてしまうと、買い物が二重に行われたり、文章が二重で送信されてしまったりすることがあります。